

会議結果報告書

令和6年11月25日

1 会議日時	令和6年10月23日
2 場 所	議員全員協議会室
3 件 名	せいよシビックプライド育成事業
4 出席者	市長、副市長、教育長、各部長級職員、総務課長、政策推進課長、政策推進課関係職員
5 会議結果	<input type="checkbox"/> 案のとおり決定する <input type="checkbox"/> 一部修正の上、決定する <input type="checkbox"/> 継続して検討する <input type="checkbox"/> 案を否決する <input checked="" type="checkbox"/> 報告を了承する
6 会議内容	<ul style="list-style-type: none">・企業、学校、生徒の反応について →アンケートによりそれぞれの意見聴取を行う。来年も参加希望の企業や学校が多く、好感触と捉えている。・事業の共有について合同企業説明会については、企業は市で選定しているが、商工会等にも共有してはどうか。 →現在は、学校との協力体制であるが、今後検討していきたい。・また建設業に就職する若者が不足していることから、同様の取り組みを建設協会に働きかけてはどうか。 →生徒の希望をふまえながら、検討をしていきたい。

備考：会議内容を簡潔に記載すること

重要計画付議(報告)書

令和6年10月16日

部課名(政策企画部政策推進課)

1 件名	人口減少対策に関する事業の進捗状況
2 計画の概要	<p>① せいよシビックプライド育成事業</p> <p>中学生を対象に、ふるさとへの理解を深め、愛着や誇りを育むため、総合学習の時間を活用し、地元企業への理解を深めることを目的とした中学生向けの合同企業説明会を宇和中、三瓶中、城川中を対象に6月7日に開催した。</p> <p>また、地元で働く大人を身近に感じてもらい、地元就職を選択肢として考えるきっかけづくりや、地元を離れてもふるさととつながるきっかけづくりを目的として、地元住民との座談会を10月から11月にかけて野村中、城川中、明浜中を対象に開催予定。進捗状況について報告する。</p> <p>② せいよ学びのフィールド化発信事業～せいよ丸ごとキャンパス～</p> <p>各課や地域づくり活動センター、愛大地域協働センター南予を拠点に多くの学生が西予市で活動していることに着目し、その実績を取りまとめて市の公式インスタに発信し、事業の概要をホームページでも紹介する。</p> <p>大学生が西予での学びを通じて魅力を感じ、その魅力をSNS等で効果的に発信することで、大学生との継続的な関わりや、関係人口、知名度アップにつなげ、市民は学生と活動することで新たな地域活動の開拓や地域の魅力を再認識することを目的とする。進捗状況について報告する。</p>
3 関係法令等	
4 関係課	
5 その他	

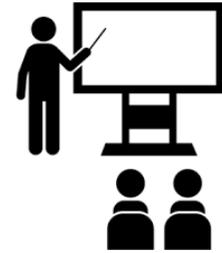
備考：計画書を付議又は報告する場合に使用

目的

- ふるさとへの理解を深め、愛着や誇りを育む（シビックプライド育成）
西予市で働くこと、西予市で生活すること、離れても西予市とのつながりを持つことのイメージを持つ

対象

- 職業体験を経験し、働くことを意識し始める中学2年生



取組内容

- 各学校に希望調査を行い、各メニューを選択

1

合同企業説明会

市内企業がブースを設け、グループごとに中学生に仕事の内容を説明する

【宇和中・三瓶中・城川中】



▶ 西予市の企業を知る

働くことの興味関心を持ち、地元の企業を知ってもらう
進路の如何に関わらず、企業を身近に感じてもらう
企業は自社の魅力をPRできる機会に

2

お仕事座談会

地元で働く方に、講義形式および座談会形式でお話をいただく

【野村中・明浜中・城川中】



▶ 西予市での仕事を深掘り

職業体験で体験できない西予市での働き方を知る
地元で働く大人を身近に感じてもらう
具体的な生き方知ることにより、西予市で生活することのイメージを持つ

①市内合同企業説明会

日時・参加中学

【参加中学】 宇和中・三瓶中・城川中（約200名）
 対象2年生（城川中は2、3年生）
 【日時】 令和6年6月7日（金）13:40～15:15
 【場所】 宇和中体育館

	参加協力企業（13社）	業種
1	株式会社 四国ちぬや	食品製造業
2	社会福祉法人 西予総合福祉会	福祉
3	株式会社 西予CATV	通信業
4	中央総合建設株式会社	建設業
5	株式会社オキノ（宇和パーク）	ホテル経営他
6	東宇和農業協働組合	協働組合
7	おがた蒲鉾	食品製造業
8	キクチ観光株式会社	林業
9	株式会社JABURO	漁業
10	有限会社 太陽ファーム	養豚業
11	医療法人 社団みのり会	医療・高齢者福祉
12	西予市役所	官公庁
13	西予消防署	官公庁

当日の様子



▲生徒1人あたり5企業を回るよう
 事前にグループ編成



▲企業の魅力や特徴について説明
 1企業あたり15分の説明及び質疑応答



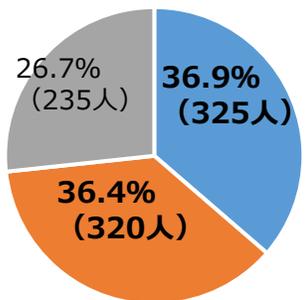
情報発信

- 広報せいよ（7月号）
- ホームページ
- 公式インスタ
- 行政情報番組（9月）

中学生の約7割近くが「企業名は聞いたことがあったが、どんな仕事をしているか知らなかった」「説明を聞くまで知らなかった」と答え、今回の説明会が、地元企業を知る機会となっている。また学校や参加企業も、来年度以降の事業の参加について前向きな回答が得られた。

中学生

参加企業等の認知度（延べ人数）



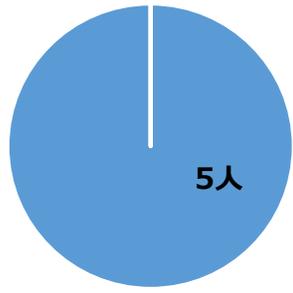
- 聞いたことがあったが、どんな仕事をしているか知らなかった
- 説明を聞くまで知らなかった
- どんな仕事をしているか知っていた



- 会社の名前は知っていても、どんな仕事をしているかよく知らなかったが、説明を聞いてどんな仕事をしているのかよく分かった。
- 仕事の内容について詳しく聞いたおかげで、その仕事がとてもすごいし、素敵だと思った。

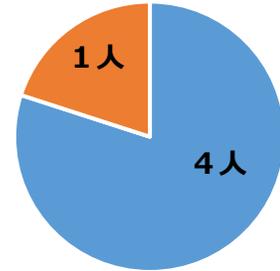
学校

地元企業を知り働くことを意識できる機会であったか



- そう思う
- そう思わない

来年度以降も継続した方がいいと思うか

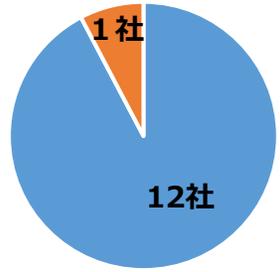


- そう思う
- そう思わない

- 最後1企業だけは興味のある企業の説明を聞くことができればよかった。

参加企業

来年度の参加について



- 参加したい
- 参加したくない



- 将来の採用活動において、中学生に当社について理解いただくことが非常に重要だと考えている。
- 中学生と接する機会がないので、いい経験になった。

②お仕事座談会

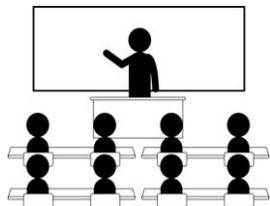
実施方法

1 限目

講話方式

(1人15分程度)

講師は3人

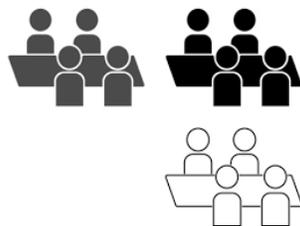


2 限目

座談会方式

(1回15分程度)

3グループに分かれ、
講師が順次交替



内容

各中学校と事前打ち合わせし、総合学習2時間を利用

- ①「働く」ことがイメージできるような内容
(仕事の心構え、やりがいなど)
- ②西予市での「暮らし」がイメージできるような内容
- ③西予市の「良さ」が発見できるような内容

	野村中	城川中	明浜中
対象人数	2年生：50人	2・3年生：26人	2年生：12人
時期	10月4日（金）3・4時間目	10月31日（木）5・6時間目	11月28日（木）5・6時間目
中学校希望人材	アンケート実施により子どもが興味のある職種の方を希望	旧町にこだわらず西予市で活躍する方を希望	移住者を含め、明浜町にゆかりのある方を希望
講師	訪問看護ステーション東宇和 ●田中奈津子さん 西予総合福祉会（保育士） ●荒木和音さん・稲葉優紀さん 卯之町パールOTO ●藤川 朋宏さん	地域おこし協力隊：養蚕ミッション ●石川耀介さん 株式会社サトチカ ●小泉麻於さん 学習塾・日本語教師・やさしい日本語 ●認定講師 仲村智映さん	狩江地域づくり活動センター ●西村吉仁さん 地域おこし協力隊 ●亀井彩香さん 元：地域おこし協力隊（移住者） ●大谷りえさん

今後の取り組み

① R6年度事業実施

- ▶ 市内合同企業説明会（6月7日）
- ▶ お仕事座談会（10月～11月）



② 情報発信・効果検証

- ▶ HPやインスタ、行政情報番組
- ▶ 広報せいよ1月号：特集
- ▶ アンケートの実施
（生徒・先生・企業・講師）

③ 来年度実施意向確認

- ▶ 市内校長連絡会にて意見聴取
（事業の振り返り）
- ▶ 来年度の参加意向確認

④ R7年度事業実施

- ▶ R6年度の内容を踏まえて
- ▶ 事業の修正・実施
- ▶ 予算 49千円
講師料4千円×3名×3校
消耗品費 13千円

まとめ

- シビックプライドの形成・醸成のためには、継続的な取り組みが必要
- 学校や地域（企業や住民）を巻き込んだシビックプライド育成教育を実現させ、連携して事業に取り組み、それぞれの積極的な関わりを促進する
- 企業の将来にとっても、シビックプライドの視点が重要であることから、生徒のみならず、企業や住民のシビックプライド育成にもつなげる。（地域全体でシビックプライドの重要性を醸成する）

